



「市ヶ谷迎賓館」 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新たな年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

弊社はおかげさまで昨年10月、創業23年を迎えました。

私自身3年前の代表就任以来、目まぐるしい時勢の中必死に食らいついてまいりましたが、昨年は未曾有の災禍の影響も少なからずあり、過酷な厳しい1年となりました。しかしながら、こうして無事に新年を迎えられたことは、社員の頑張りのもとより、弊社を支えてくださる皆様方のご理解とご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年も変わらぬコロナ禍ではありますが、弊社の進むべき道は変わりません。「こだわり建築」の施工専門店として、社員一同、情熱をもって愚直に建物づくりに取り組むとともに、施工のやりがい・魅力を発信し続けてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

最後に、2000年4月の第1号以来、取材・編集を一人で担い、名実ともに本紙「SHIN CLUB」を支えてくれた弊社広報担当者が本人の意向もあり、前号をもって業務退任いたしました。創業以来欠かすことなく発行してこられたことは、皆様方のご支援のもと編集者の情熱の賜物であると確信しており、改めてここに感謝の意を表します。

本号より新社内組織「広報チーム」にて編集しております。不慣れな点多くお見苦しいところもあるかと思いますが、どうかご寛恕くださいますようお願い申し上げます。

市ヶ谷迎賓館大規模改修



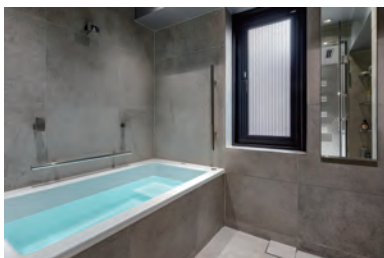
3階リビングダイニング。広々 48㎡



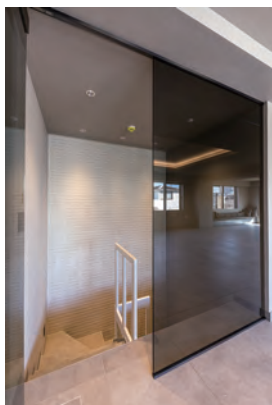
フルオープンするサッシで開放感を演出



こだわりの詰まったキッチン



浴室。石の模様が切れないようにした



3階スラブを開口し階段室に



ベッドスペースも活かされた

長く暮らしていく「空間」だからこそ、オンリーワンを

もともと建物3階部3LDKに住んでいたが、子どもが海外留学から帰国したこともあり、家族4人で住むには手狭さを感じ始め、改修工事を考えるようになった。

当初は建物3階部をワンフロアとして計画していたが、紆余曲折ありスラブに開口を作り、上下階を階段で繋げる計画に落ち着いた。

住設備にはこだわっていて、特にキッチン・浴室・家事室は使い勝手の良さと高級感が出るように意識した。

キッチンはCUCINA（クチーナ）を採用し、面材は木目を浮き上がらせるような仕上げを施した「浮造り：うづくり」のものを使用。天板は「デクトン」のタイルにし、ガス台・コンロ・グリル・IHは「ガゲナウ」を採用することで、組み合わせの自由度が高くなり、また使い勝手も良くなるようにした。また、コンロ脇に「ポットフィラー」を設置することで、使いやすさと料理のバリエーションも増え、キッチンに立つことが楽しみでならない。

浴室はフルオーダーユニットを採用。パネルの目地で石の模様が切れないようになり、区画形状上デッドスペースになる場所も上手く活かすことができた。

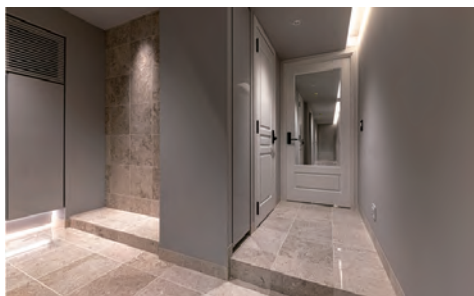
我が家は犬を2匹飼っているので、家事室にトリミングスペースを設けた。それを2階玄関付近に設けることで、散歩から帰ったあとスムーズにシャンプーすることが可能。また洗濯機などの設備も同室にあることで、その場で洗濯などもおこなえる。家事をおこなう人にとっては非常に助かるポイントでもある。

長く暮らす「空間」だからこそ、新しく生まれ変わった「市ヶ谷迎賓館」はオンリーワンでありたい。使い勝手の良さと、更には景観美を兼ね備えた空間は、これからの家族の時間をより良いモノにしてくれるだろう。

(施主 / A様 談)



家事室洗い場。散歩帰りにそのままシャンプーができる



2階エントランス



ドレッシングルーム。寝室から直接出入りが可能



2階廊下



3階廊下。2階とテイスト違い

構造：RC造
用途：専用住宅
設計：清水芳 / アトリエ プラスワン
施工担当：五十嵐・幾原・宮島
竣工：2020年12月
撮影：アック東京

施工現場報告

市ヶ谷迎賓館大規模改修工事 —フルリノベーション工事記録—

前ページで紹介いたしました「市ヶ谷迎賓館大規模改修工事」
2020年春ごろ、施主のA様より改修工事のご相談をいただきました。
新宿区に位置するその建物は竣工からおよそ30年ほど経った、RC造ラーメン構造の地下1階地上3階の共同住宅です。
もともと建物上層階にお住まいのA様ご家族でしたが、「より快適な生活空間にできればいいな」と思い、今回の改修工事をご検討されたそうです。

今回の計画で大きな難関作業だったのは、上階と下階をつなぐ「階段新設工事」です。
「RC造の建物ですから、設計も入れて重量計算・耐震強度計算などの検査もしっかりおこなった上でスラブを開口し、階段を設置しました。壁は上階・下階とも同じ位置に浴室があったことから、その区画を利用しています」と現場所長を勤めた開発営業部リーダー五十嵐。

また普段家事をおこなう奥様がより快適に、そして使いやすくなるように住設備にはさまざまな配慮・工夫をおこなっています。その中の一つである浴室は、当初ハーフユニットを計画していましたが、施工の自由度も高いフルオーダーユニットを採用しました。
「通常のユニットだとパネルの目地で柄がぶつ切りになってしまい、模様が繋がらないんです。フルオーダーにすることで床の素材を直接浴室に使うことができますし、洗い場と脱衣所の床を同じ仕上げにすることもできます。もちろん柄を揃えることもできます」と五十嵐。

こだわりの詰まった新しい生活空間で、よりご家族の時間を快適に過ごしていただきたいですね。

Before

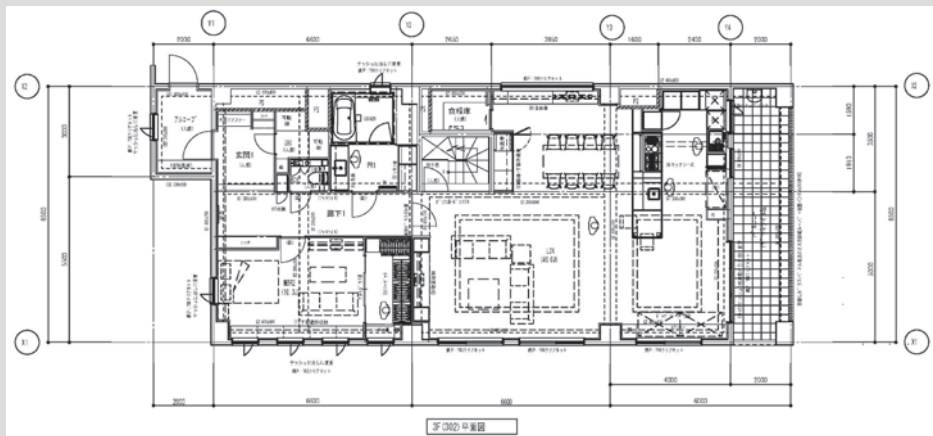


スケルトンになった3階リビング

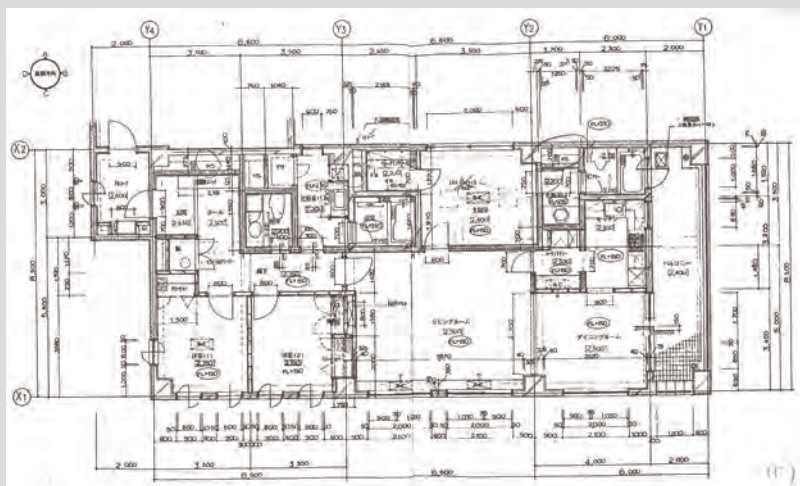
After



完成後のリビング。階段室の入り口を新たに造った



3階改修工事図面



3階既存図面

Before



3階階段室。スラブを開口し新しく階段を設置

After



完成後。ガラスを設置し閉塞感をなくした



スラブ躯体解体作業中



躯体補修後、螺旋階段を設置



浴室。洗い場と脱衣所が同じ仕上げに

全体的にスケルトンにし、階段新設のためのスラブ開口など躯体削りの多い現場となった。バルコニーに手洗い器の新設や、新たに家事室を設けるなど、配管関係の新設も多く見られた。使用したクロスはアレルギーが起きにくい材料を使用している。工事期間はおよそ6か月。

TOPICS/INFORMATION

「2021年社内イノベーション大会」が開催されました 2021年12月4日(土)

毎年恒例の社内「イノベーション大会」が今年も開催されました。「全社員の創意工夫で、より良い会社を目指そう」をコンセプトに、チーム分けされた社員がプレゼンテーションをおこなう社内イベントです。

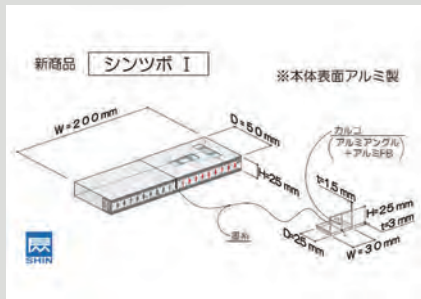
今年のテーマは「絆と遊び心」

コロナの影響で飲み会や打合せなど対面での会話が減り、人と人とのつながりが希薄になってきている日々の中で「社員同士のつながり＝絆」を深めつつ、遊び心をもって楽しんでほしいというものです。「絆」にちなんで、今回のチーム分けは誕生日が近い社員で編成されました。

各チームの持ち時間は5分間。次の4項目について審査員が10満点で採点します。

- ①実現性・具体性・リアリティ
- ②独創性・オリジナリティ・画期的
- ③チームワーク・プレゼンテーション
- ④情熱・向上心・革新的

■ 1位:「シツボ I」 Pチーム



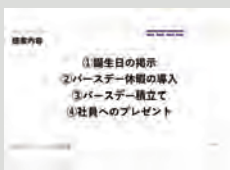
建築現場で使用される「墨ツボ」
使用時に手が墨で汚れたり、一人での墨出し作業が難しいなどの難点を解決する、時代に合わせた「辰ブランド」の新商品の提案です。商品化にあたり、動画にて試作品のお披露目をおこないました。建築現場で使用される日が待ち遠しいですね。

■ 2位:「ゴミ収集システム」 Bチーム



現場管理をするなかで、ゴミ(産業廃棄物)によってスペースを有効活用ができない・分別したいが現場が狭くてできない・見栄えが悪いなど悩まされることが多々あります。そのような現実問題を解決する「ゴミ収集システム」の提案です。辰オリジナルの収集車を導入し、収集することでコスト削減・地球環境問題への意識も変わります。

■ 3位:「さあ、絆(WA)になって祝おう」 Iチーム



従業員数60名の弊社。全社員を把握できる規模であることから「家族のような」「アットホームな」「(社員同士)絆のある」会社になれるような提案です。

また各チーム1票を持ち票とし、自分のチーム以外へ投票します。1番票を集めたチームへ20点、2番目のチームへは10点が加算されます。

審査の結果、次のような結果となりました。

- 1位:「シツボ I」 *賞金 ¥100,000-
Pチーム(井田・竹原・笹原・若井) 合計得点 187点
- 2位:「ゴミ収集システム」 *賞金 ¥60,000-
Bチーム(堤・上田・小坂・朴) 合計得点 161点
◎審査員特別賞も同時受賞 *賞金 ¥30,000-
- 3位:「さあ、絆(WA)になって祝おう」 *賞金 ¥30,000
Iチーム(郷・鍋島・本間・池上) 合計得点 147点



入賞チームには代表の岩本より賞金が贈られました。左からBチーム:堤/Pチーム:井田/Iチーム:郷

惜しくも入賞を逃したチームもみな個性的で、会社をより良くしようという意欲に満ちあふれていました。入賞チームの案が実現されるのが楽しみです。

退任のご挨拶

前編集人 松村典子

読者の皆様におかれましては、毎月小紙をご覧いただきありがとうございます。

先月号の編集後記でもお知らせしましたがこのたび「SHINCLUB」の編集から完全に退くことになりました。2000年4月に第1号を発行して以来、お客様、建築家の先生方、協力会社の皆様ほか、多くの方々にご協力いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

当初はA3片面刷りの簡単なものでしたが、お預かりした仕事を一つ一つ丁寧にご紹介することで、建築の文化に少しでも寄与することができればと、これまで積み重ねてまいりました。WEB環境、技術も日々進歩していく中、この度新たな情報発信を若いチームに託すこととなりました。ここまで来られましたこと、万感の思いであります。今後とも、株式会社辰をよろしくお引き立ての程お願い申し上げます。



「(仮称) 子供の家 地域センター」新築工事 上棟式 2021年11月14日



たくさんのお子どもたちの笑顔あふれる上棟式でした。引き続き安全第一で建築いたします。

構造/規模: 木造/地上2階
用途: 寄宿舎・児童福祉施設等
設計: 伊藤潤一建築都市設計事務所
施工担当: 鯨津・竹澤・堀江・山本
完成予定: 2022年1月

「A邸」新築工事 上棟式 2021年11月15日



「木」をふんだんに使用する内装、素晴らしい庭の完成が今から楽しみです。

構造/規模: RC造/地下1階・地上2階
用途: 事務所併用住宅
設計/監修: 吉原組/GREFICA
施工担当: 堤・渡辺
完成予定: 2022年4月

編集後記

・新年明けましておめでとうございます。今年の干支、寅年生まれの方は前向きでチャレンジ精神が強く、どんなことにも強い信念を持って挑んでいく傾向があるそうです。弊社も「情熱・挑戦・進化」を理念に邁進してまいります。本年もよろしくお祈り申し上げます。

(株)辰 通信 Vol.262 発行日 2022年1月10日
編集人: 本間夏来/村上由衣(広報チーム) 発行人: 岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーもPDFで掲載しています。スマホはこちらから→

